

ちよつとそこまで

『ちかば旅』

ちかば旅⑨

案内人 三津観光大使



私は今、大京都芸術祭を機にアートの視点から三津をみつめる人や、三浦春馬主演映画「天外者」のロケ地巡礼で訪れた人たちから、三津の風景の魅力を教えられています。

海と山が隣り合わせにあるその距離の短さに驚く「ソト」の人の声に驚き、あたりまえ過ぎて見えていなかったものが見えるようになってきました。

ぜひ、皆さんも「ソト」の人が見つけてくれた素朴な三津の魅力を確かめに来てください。



三津の灯台

○三津の灯台

2021年10月で誕生から50年を迎える、タイル張りの赤い灯台。どこか遠い懐かしさを感じ、レトロで可愛い♡と多くの方が Instagram などSNSにアップし、今では三津のランドマークとなっています。



<持って行くと良いもの>

- ・カメラ
- ・ナイロン袋（ビーチコーミングで拾ったものを入れる）
- ・ビーチサンダル



<注意点など>

・駐車場は三津漁港



・お手洗いは「三津の灯台珈琲」で借りてください。





「ゆぎ」の浜で拾ったシーグラスで作った
ハーバリウム

○「ゆぎ」の浜

三津八幡神社を通過して、10分ほど海沿いの遊歩道を歩くと小さな浜辺にたどり着きます。いつもシーグラスや貝殻を拾うビーチコーミングに夢中になってしまいます。拾ってきた海からの宝物は、三津漁港にある「三津の灯台珈琲」でハーバリウムにすることもできますよ。

※ビーチコーミング

海岸などに打ち上げられた漂着物を収集の対象にしたり観察したりする行為のこと。漂着物を加工したり標本にしたり装飾して楽しむ。



○幸せの洞窟

4月から10月には、シーカヤックで海から三津を見る非日常体験ができます。その時には、ぜひ海から続く「幸せの洞窟」に入り、小さな冒険を楽しんでみてください。



幸せの洞窟